

抗菌・抗ウイルス製品の開発・提案に注力

日常生活における衛生面への意識が高まる中、菌の増殖を抑える抗菌やウイルスの数を減少させる抗ウイルスといった機能を持つ製品へのニーズが増加しています。こうした状況を受けて、当社では抗菌・抗ウイルス性を付与した各種製品の開発と市場投入を進めています。

昨年9月、ラベルの表面に貼って耐久性などを付与するラミネートフィルムに抗菌加工を施したアイテムを発売。さらに12月には、抗ウイルス加工を施した特殊粘着フィルムの販売を開始し、手すりやテーブル、ドアノブなどへの施工に適したタイプと、屋内に掲出するポスターや看板などへの貼付に適したタイプをラインアップしました。この春にも新製品の発売を予定しており、今後も抗菌・抗ウイルス製品の開発・提案に注力し、社会の安心・安全へのニーズにお応えしていきます。



各種表示ラベルなどに抗菌性を付与できるラミネートフィルム



特殊粘着フィルムは、多くの人の手が触れやすい階段の手すりなどにも施工可能

抗菌・抗ウイルス製品の拡販に向けて

当社は、抗菌・抗ウイルス・防カビ加工製品の普及促進を目的として関連メーカーや試験機関などによって設立された抗菌製品技術協議会（SIAA）に加盟しています。SIAAは抗菌・抗ウイルス・防カビ加工製品に求められる品質や安全性に関する基準を定め、その認証機関として基準を満たす製品に「SIAAマーク」の表示を認めています。当社では各種抗菌・抗ウイルス製品について右記のマークの認証取得を推進するとともに、製品のさらなる拡販と浸透に向けて活用していきます。



※ 抗菌・抗ウイルス性能は、フィルム表面に菌やウイルスが直接付着しないと発揮されません。また、抗菌性能評価試験「ISO 22196」および抗ウイルス性能評価試験「ISO 21702」に規定される菌・ウイルスでの検証結果であり、全ての菌やウイルスに対して効果があるわけではありません。

リンテックの エコひいき

小さなことから一つずつ
リンテックの環境配慮



1月 January 掲載広告

日当たりが悪く、室内が暗くなりがちな建物で効果を発揮するのが当社の省エネ・採光フィルムです。窓ガラスに貼ることで外からの光を天井などに効率良く反射・拡散。室内全体を明るくすることができ、照明電力を削減しながら快適な空間を実現します。



2月 February 掲載広告

屋外用板用のフィルムには、雨や雪、太陽光などの影響を受ける過酷な環境下での耐久性が求められます。当社グループでは、最大約8年*にわたって使用可能な屋外耐久性粘着フィルムを各種ラインアップ。製品の長寿命化で、省資源に貢献します。

*保証値ではありません



3月 March 掲載広告

今年度の新聞広告では、環境をテーマにさまざまな製品や取り組みを紹介してきました。私たちはモノづくりを担う企業として、こうした一つずつの積み重ねが未来を変えると思っています。その思いを大切に、これからも新製品の開発に努めていきます。

「リンテックのエコひいき」をテーマに、皆様の身の回りで活躍する当社のさまざまなエコロジー製品や、環境配慮への取り組みを影絵風のビジュアルを使って表現した新聞広告シリーズです。

【掲載紙】

日本経済新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、北海道新聞、中日新聞、中国新聞、西日本新聞、上毛新聞、神戸新聞、愛媛新聞、日刊工業新聞、化学工業日報

詳しくはwebサイトに掲載中!

DREAM FACTORY

www.lintec.co.jp/dream/ad

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)	当第3四半期 連結会計期間	前連結 会計年度
流動資産	166,201	163,660
固定資産	111,682	115,311
① 資産合計	277,883	278,972
流動負債	64,669	66,119
固定負債	20,478	20,554
② 負債合計	85,147	86,674
③ 純資産合計	192,735	192,298
負債純資産合計	277,883	278,972

四半期連結損益計算書及び 四半期連結包括利益計算書(要約)

(単位：百万円)	当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間
④ 売上高	171,768	179,307
売上総利益	42,388	44,075
販売費及び 一般管理費	30,687	32,275
⑤ 営業利益	11,700	11,799
経常利益	11,454	11,292
税金等調整前 四半期純利益	11,484	11,292
⑥ 親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,936	7,985
四半期包括利益	6,003	5,217

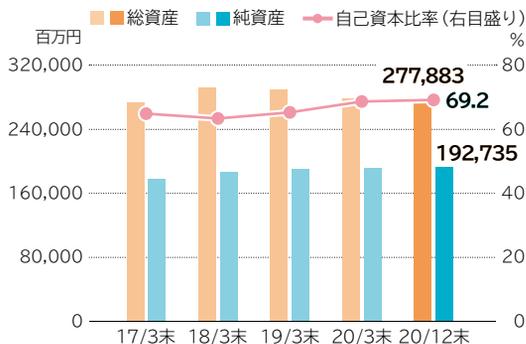
□ポイント!

- ① 資産合計** 現金及び預金が増加しましたが、たな卸資産、のれんが減少したことなどにより、総資産は10億88百万円減少しました。
- ② 負債合計** 支払手形及び買掛金が増加しましたが、1年内返済予定の長期借入金、未払法人税等が減少したことなどにより、負債は15億26百万円減少しました。
- ③ 純資産合計** 為替換算調整勘定が減少しましたが、利益剰余金が増加したことなどにより、純資産は4億37百万円増加しました。
- ④ 売上高** アドバンストマテリアルズ事業部門は増加しましたが、そのほかの事業部門が新型コロナウイルスの感染拡大による需要低迷を受けて減少したことなどにより、売上高は75億39百万円減少しました。
- ⑤ 営業利益** アドバンストマテリアルズ事業部門の増収効果やパルプ・石化原材料価格の下落などがありましたが、そのほかの事業部門の販売数量の減少などにより、営業利益は98百万円減少しました。
- ⑥ 親会社株主に帰属する四半期純利益** 営業利益の減少などにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は49百万円減少しました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)	当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間
営業活動による キャッシュ・フロー	23,904	12,100
投資活動による キャッシュ・フロー	△6,057	△9,764
財務活動による キャッシュ・フロー	△13,969	△9,644
現金及び現金同等物の 四半期末残高	55,456	50,011

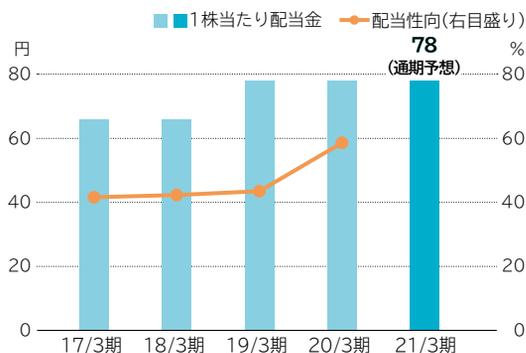
総資産・純資産・自己資本比率



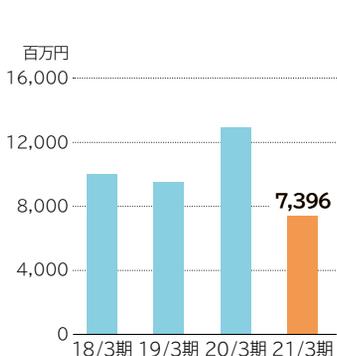
1株当たり四半期(当期)純利益



1株当たり配当金・配当性向



設備投資額



減価償却費 のれん償却額



研究開発費

